



横関一浩撮影

本紙Reライフ面「ひらりー」を連載中の歌手加藤登紀子さんは、弾き語りの歌や軽快なトークで会場を盛り上げた。

人生おもしろく私の指針 加藤登紀子さん

「ひらりー」で紹介した言葉で特に印象に残っているものとして、「人生はおもしろくないか」とききかけた。加藤さんが歌手になったきっかけとなった、父の言葉だ。「正しい、美しいという基準より、おもしろいのか。それが私の指針になった」。会場にも「せひ皆さんも年齢に関係なく、「人生、常におもしろいなあ」という気持ちで生きてほしい」と呼びかけた。



恵原弘太郎撮影

新しいこと 何歳からでも

アクティブ世代のための文化祭 3千人が来場



恵原弘太郎撮影

俳優の吉永小百合さんは、桜色のジャケット姿で登場した。出演120本目となる映画「北の桜守」を意識したという。作品中、お米を持って走る、雪の中を歩く、といった過酷なシーンがあり、ジムのスクワットや腹筋などで鍛えたと明かした。「年を重ねると出演するものが難しくなっていくが、しっかりと体力作りをして一つの作品に臨みたい」と思っている。

吉永小百合さん

自身の出演作は試写で見た後、映画館にも足を運んで鑑賞するという。「お客様がどういう反応をするかが、とても大事。演技の力が足りなくてちょっと失敗してしまっという映画でも、お客様がとてもしっかりと見てくれて、泣いたり笑ったりするのを見て、励まされる」。映画界での評価が割れたという過去の出演作「映画女優」は、「どうい風を受けた止められるか心配で、映画館で7回見た」というエピソードも披露。

「ひらりー」の愛称で親しまれている将棋棋士の加藤一二三九段は、「棋界のレジェンドが語る。将棋ブームのテーマで講演した。藤井聡太六段や羽生善治竜王の活躍にふれ、「私は相手を研究することはなかったけれど、彼らはかたたら教えてあげようと思ってる」とちやめつた。ついに明らかした会場を沸かせた。

加藤一二三さん

自身も歌手デビュー曲である「ひらりー」も披露。最後は同世代の参加者が多い会場に向け、「将棋はおもしろくて楽しいし、頭を使う刺激になる。いくつから始めても大丈夫なんです」とアピールした。



横関一浩撮影

将棋は楽しく頭を使う

「ひらりー」の愛称で親しまれている将棋棋士の加藤一二三九段は、「棋界のレジェンドが語る。将棋ブームのテーマで講演した。藤井聡太六段や羽生善治竜王の活躍にふれ、「私は相手を研究することはなかったけれど、彼らはかたたら教えてあげようと思ってる」とちやめつた。ついに明らかした会場を沸かせた。

その他の催し

- 丹野智文さん 認知症当事者が語る「認知症とともに生きる」
- 麻丘めぐみさん 「きょうもキレイ ～髪がかわれば気分も変わるビューティセミナー～」
- 木佐彩子さんと学ぶ 「人生100年時代ががっちり備える！個人向け国債セミナー」
- ビビる大木さんと学ぶ 「西郷どん～その伝説と実像～」
- 柳家さん 橋師匠 Reライフ寄席・落語口演
- 世界遺産写真家・富井義夫さん 「Reライフ世代におすすめるヨーロッパの世界遺産」
- 脳科学者・茂木健一郎さん トークショー「脳と“金”の不思議な関係」
- 「FORZA STYLE」編集長/ファッションディレクター 干場義雅さん 「美しき船旅の世界」
- 谷川真理さん 「大人の走り方教室～これから始めるジョギング入門～」

◆この特集は伊藤綾、斎藤純江、中井なつみが取材を担当しました。より詳しい記事を、朝日新聞デジタルのReライフページ (<http://t.asahi.com/rfs8>) に掲載します。

人づきあい、取捨も必要 リアル読者会議

普段は紙面上で集う読者の輪が広がり、いまはいきいきと活動している「リアル読者会議」。「第二の人生」の人づきあいをテーマに、「定年後の著書のある楠木新さん、エッセイストの岸本葉子さんと読者会議メンバー4人が、体験などを語り合った。元小学校長の八木一龍さん(65)は定年退職後、人づきあいを求める料理教室やジムなどに通ったがうまくいかなかった経験を紹介。「地域の老人クラブに入り、いろいろ仕事を引き受けたことをきっかけに、人づきあいは大事」と語った。

書いたら世界が広がった 北方謙三さん

大河小説「大津藩」シリーズなどで知られる作家の北方謙三さんは、「人生は原稿用紙の上にあった」と題して講演した。北方さんは、文学に目覚めたきっかけとして、大学受験を控えた18歳のとき、肺結核と診断されたことだ。筆を握り始めた当初は、自分が何者か気がならず、「私は」という自己分析の文章を書いていたが、ふとしたときに「彼が」で書き始めてみると、文章の世界が大きく広がったという。「それが、小説の原型になりました」と話した。



横関一浩撮影

主催 朝日新聞社
協賛 アートネイチャー、イオンライフ、オーシャニアグループ、大家食品、花王、キャンドルウィック、キュービー、サントリー、ジュビターショップチャンネル、宝酒造、東京書庫、日本ラズエンズ、ブルックスホールディングス、ミス터리チャンネル、森永製菓、山本海苔店、リオン、JR東日本、JT Bメディアリテリング、SGC
協力 財務省

おでかけに安心感を。超うす型紙パンツに高い関心

3月2日に開催された「朝日新聞Reライフフェスティバル」の会場では、これからはもっと楽しみたいReライフ世代への提案を盛り込んだイベントが開催された。花王リリーフのブースのサンプル展示では、カラーバリエーション豊富な超うす型紙パンツが訪れた人の注目を集めていた。

イベントでは、リリーフを紹介するブースが設置され、来場者の多くの興味と関心を集めていた。ブースに展示された、訪れた人にサンプルが配布されたのは、チェリッシュのCMでもおなじみの「リリーフ超うす型まるで下着」。5色のカラーバリエーションとその薄さに、実際に触れた人も「本当に下着のよう」と驚いた様子だった。「リリーフ超うす型まるで下着」は、花王が開発した独自のストレッチ素材により、薄さと柔らかさ、はき心地のよさを実現。流れるようなシルエットで、パンツスタイルでも目立ちにくい。Reライフ世代にとってこれまで不安のあったバスでの旅行や映画鑑賞、観劇などおでかけに安心感を与えてくれる心強いアイテムとなりそうだ。



海外旅行の際など、以前から紙パンツを利用していたので、リリーフは発売から愛用しています。アウトターにひびきにくく、荷物もコンパクトになっというですね。(60代女性)

「Reライフ読者会議メンバー」取材しました

企業・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

スキーのときに、紙パンツを使ったことがありますが、モコモコする印象がありました。リリーフに触ってみてびっくり。以前と比べてすく進化しているんですね。(70代女性)

サンプルを使ってみて、はき心地と薄さに驚きました。これなら外から見てもわかりやすいですね。長距離ドライブなどで、車に置いておく安心だと思いました。(60代男性)

Relief リリーフ 超うす型 まるで下着 選べて楽しい! おしゃれな5色

下着のようにはいてほしいから。超うす型紙パンツ リリーフまるで下着は動きやすい 目立たないにこだわっています。

男女共用 M～Lサイズ ウエストサイズ 60～90cm L～LLサイズ ウエストサイズ 85～115cm

お買い求めは、お近くのスーパー・ドラッグストア・ホームセンターやオンラインショップで。

合計で10万名様に お好きな色のサンプルプレゼント!

締切: 2018年5月17日(木) はがきまたはWEBでご応募ください

はがきでの応募は 郵便はがきに ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤性別・年齢 ⑥ご希望のサイズ(M～LまたはL～LL) ⑦ご希望のカラー(ピンク・ブルー・ラベンダー・アイボリー・ホワイトの中からいずれか1色) ⑧応募の理由 ⑨現在ご使用の尿もれ対処商品を明記の上、ご応募ください。

WEBでの応募は 花王リリーフ 検索 商品についての詳細はこちらをご覧ください。

電話での応募は受け付けておりません。

キャンペーンについての お問い合わせはこちら ☎0120-325-206 9:00～17:00(土・日・祝日を除く) 年末年始12/29～1/4を除く